



目黒蒲田電鉄東京横濱電鉄 沿線名所案内

文・藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

目黒蒲田電鉄・東京横濱電鉄は、東京急行電鉄株式会社（東急電鉄）の前身のひとつ。

秀麗な富士山と田園の近代的な文化住宅の家々を背景に、春の摘み草に興じる母娘を描いた初三郎の表紙絵には、ロンドン郊外の田園都市を視察し、日本でその実現を夢想した渋沢栄一の意向が滲み出ている。

渋沢は非営利の事業として設立した田園都市株式会社を興しているが、大正十一年九月、鉄道部門を分離して設立した目黒蒲田電鉄が鉄道史の始まりだ。その経営に参画した五島慶太が意図したのは、東京都市心に通う勤労者に向けた「田園都市開発の一環としての鉄道事業」構想だった。

初三郎得意の最短経路でイメージ表現し、大正十二年三月に開業した目黒〜丸子多摩川（現多摩川）〜蒲田間と、大正十五年二月に開業した

藤本一美

首都大学東京非常勤講師。日本国際地図学会常任委員。鳥瞰図・展望図資料室兼山岳情報資料室主宰。近・現代の鳥瞰図絵師の作品収集と研究に精力的に取り組んでいる。近著に『旅と風景と地図の科学Ⅱ』（2006年）がある。

